

殺菌剤

石原 スミック

顆粒水和剤

®は登録商標

(イミノクタジンアルベシル酸塩・ピリオフェノン水和剤)

うどんこ病・灰色かび病に優れた防除効果を発揮!



すいか うどんこ病



いちご うどんこ病



きゅうり うどんこ病



かぼちゃ うどんこ病



いちご 灰色かび病



トマト 葉かび病



メロン うどんこ病



きゅうり 灰色かび病

特長

- ① 新規有効成分ピリオフェノンとイミノクタジンアルベシル酸塩との混合剤です。
- ② 各種うどんこ病に安定した効果を示すほか、灰色かび病との同時防除が可能な薬剤です。
- ③ サニテーション効果とマルチスプレッド効果の2つの効果で安定した性能を発揮します。
- ④ 既存の各種耐性菌に対しても優れた効果を発揮します。
うどんこ病に対して有効な2つの成分を組み合わせることで耐性菌の発達リスクを抑えます。
- ⑤ 有用生物や天敵に対して影響が少なくIPM体系に適した薬剤です。



石原バイオサイエンス株式会社

試験成績

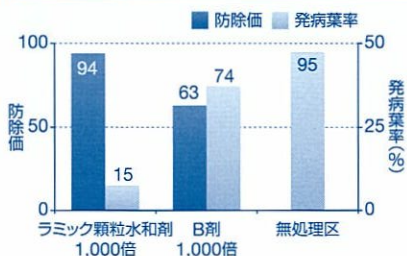
いちご うどんこ病



宮城県農業・園芸総合研究所(2013)
●試験条件:施設栽培 ●処理:7月2日、8日、16日に動力式噴霧器により200ℓ/10aを散布*
●発生条件:中発生 ●品種:もういっちょ ●調査:7月24日に小葉の発病程度を調査

※登録上のいちごへの使用回数は2回以内なのでご注意ください。

きゅうり うどんこ病



宮崎県総合農業試験場(2014)
●試験条件:施設栽培 ●処理:1月27日、2月3日、10日に肩掛け噴霧器により300ℓ/10aを散布
●発生条件:甚発生 ●品種:エクセレント節成2号 (台木:ゆうゆう一輝) ●調査:2月21日と28日に葉の発病程度を調査 (グラフは2月28日調査のもの)

トマト 葉かび病



神奈川県農業技術センター(2015)
●試験条件:センター温室 ●処理:3月3日、10日、17日に肩掛け式噴霧器により300ℓ/10aを散布
●発生条件:少発生(接種) ●品種:ハウス桃太郎 ●調査:3月25-26日に中位葉の発病程度を調査

※登録上のトマトへの使用回数は2回以内なのでご注意ください。

メロン うどんこ病



静岡県農林技術研究所(2016)
●試験条件:施設栽培 ●処理:7月27日、8月3日、10日に電動式噴霧器により150-380ℓ/10aを散布*
●発生条件:多発生 ●品種:アールスメロレット ●調査:8月18日に葉の発病程度を調査

※登録上のメロンへの10a当りの使用量は100-300ℓなのでご注意ください。

すいか うどんこ病



鳥取県農芸試験場(2014)
●試験条件:施設栽培 ●処理:6月6日、13日、20日に電動式噴霧器により250ℓ/10aを散布
●発生条件:中発生 ●品種:筑波の香 (ユウガオ台木:かちどき2号) ●調査:6月27日に葉の発病程度を調査

かぼちゃ うどんこ病



鹿児島県農業開発総合センター大島支場(2014)
●試験条件:露地栽培 ●処理:5月23日、29日、6月5日に動力式噴霧器により100-300ℓ/10aを散布*
●発生条件:甚発生 ●品種:えびす ●調査:6月12日に葉の発病程度を調査

※登録上のかぼちゃへの使用回数は2回以内なのでご注意ください。

適用病害と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	10アール当り使用液量(ℓ)	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミノクタジンを含む農薬の総使用回数	ピリオフェノンを含む農薬の総使用回数
トマト	うどんこ病 灰色かび病 葉かび病 すすかび病	1,000	100~300	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内	2回以内
きゅうり	褐斑病				3回以内		7回以内	
いちご	うどんこ病 灰色かび病				2回以内		10回以内 (育苗期は5回以内、本圃では5回以内)	
メロン	つる枯病				3回以内		5回以内	
すいか	うどんこ病 菌核病			3回以内	4回以内			
かぼちゃ	うどんこ病	収穫7日前まで	2回以内	2回以内				

使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
- 出来るだけ発病前または発病初期に散布してください。
- メロンに使用する場合、交配2~3日前から交配2週間後までの幼果の時期には薬害を生じるおそれがあるので、この時期の散布はさけてください。また、若葉への散布や高温時の散布では薬害を生じることがあるので注意してください。
- 使用液量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせ調節してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

本印刷物は令和2年9月時点での知見に基づいて作成しています。

安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、散布液調整時および散布の際は保護メガネを着用し、薬剤が眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。使用後は洗眼してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 蜜に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。保管…密封し、直射日光を避け、食品と区別して冷涼な所に保管してください。

●使用前にラベルをよく読んでください。
●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

ラベルを守って適切に使用しましょう！
適用作物、薬量(希釈倍数)、
使用時期、使用回数を守りましょう
石原は「食の安全」を大切にします